

一般質問通告書

平成 25 年 5 月22 日 提出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様	議席番号 13	氏 名 渋谷登美子 印	受付番号
下記のとおり質問したいので通告します。			
	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
		<p>(4)30代からのHPV検診が本年度から始まります。HPV感染で軽度異型性状況でも経過観察で、自然治癒が90%。残りの中度・高度異型性の場合に治療することで、子宮頸がんは100%治癒すると日本産婦人腫瘍学会のガイドラインに示されています。子宮頸がんには細胞診とHPV・DNA検査で予防できることをご存知でしょうか。</p> <p>(5)子宮頸がんの発生が近年若年層に増えてきたという理由でHPVV接種が定期接種となりました。HPVVの有効期間は。</p> <p>(6)近年、子宮頸がん罹患率が若い人が増えてきたといわれますが、子宮頸がんの若年層の検診は、いつからはじまりましたか。直近の子宮頸がんの年齢別死亡者数は。</p> <p>(7)HPVVの重篤な副反応について、厚生労働省からの通知がありましたか。</p> <p>(8)定期接種並びに嵐山町独自助成予防接種にかかる副反応被害についての救済制度、又、実際に全国で、副反応被害の救済の状況について伺います。</p> <p>(9)4月1日に配布されたお知らせには副反応については筋肉注射による副反応のみが記されています。重篤な副反応としてアナフィラキシー症状(ショック症状・蕁麻疹・呼吸困難)、ギランバレー症候群(筋肉</p>	町長